

## ■ 平成 18 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入総数（図書・雑誌及び特別資料等）	823 点
寄贈資料受入総数（同上）	4,205 点
計	5,028 点

整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに収蔵資料の寄贈・寄託目録作成等。  
収蔵資料データベースの公開・検索システムの構築。

閲 覧 利用者 延べ 1,699 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催一覧

注：「区分」欄の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

区分	事業名	実施時期 (日数)	観覧者数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (299 日間)	6,670	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルを主眼に置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料を 1,350 点公開している。（※展示構成を次頁に掲載。）
	特別企画展 石川啄木 ～貧苦と挫折を超えて～	7/22(土) ～ 8/27(日) (37 日間)	2,756	中村稔（日本近代文学館理事長）の監修によるものに、当館が企画した「啄木と北海道」のコーナーを加えて構成・展示した。本道初公開である日本近代文学館蔵の多くの一級資料と、函館・釧路に在る資料を展示し、啄木の偉大な文業を紹介した。
	特別企画展 池澤夏樹のトポス ～旅する作家と世界の 出会い～	10/14(土) ～ 11/26(日) (44 日間)	1,967	芥川賞作家で帯広生まれの池澤夏樹は、世界各地を訪れた自身の眼を通して詩や小説を創作するとともに評論活動も展開している。本人が撮影した各地の写真や談話映像等とともに「旅する作家」の豊かな創造世界を紹介した。
	企画展 人生を奏でる二組のデュオ ～有島武郎と木田金次郎 ・里見淳と中戸川吉二～	2/17(土) ～ 3/18(日) (30 日間)	609	生きる立場や地域を超え、大正期に互いの人生をハーモナイズさせた二組の作家をそれぞれの小説作品と美術作品に沿って解説し、書簡・初版本・写真・絵画等の資料とともに紹介した。
※	企画展 写・文交響 ～写真家・綿引幸造の 世界から～	4/29(土) ～ 6/4(日) (32 日間)	1,217	札幌在住の写真家・綿引幸造の写真作品に、関連のある文芸作品の文章を添えて紹介し、写真芸術と文学が響きあう空間を演出した。
※	企画展 〈デルス・ウザーラ〉 絵物語展	6/10(土) ～ 7/9(日) (30 日間)	983	(財)北海道北方博物館交流協会との共催事業。探検家アルセーニエフの紀行文学「デルス・ウザーラ」の挿絵原画（画・パヴリーシン）と竹久夢二の作品を紹介した。
※	企画展 書房の余滴 ～中山周三旧蔵資料から～	12/9(土) ～ 1/27(土) (37 日間)	546	歌人・教育者・国文学者で歌誌「原始林」を牽引した中山周三が収集した膨大な資料群の中から、大正・昭和初期の雑誌や書簡・直筆原稿を紹介した。

〈常設展特設コーナー設置〉・8月 作家・吉村 昭氏追悼コーナー（18年7月31日没）  
・3月 作家・高橋揆一郎氏追悼コーナー（19年1月31日没）

## (2) 常設展の展示構成

### 〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆ 20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎『札幌農学校』 ◆ 助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆ 漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆ 道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆ 逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆ モダニズムの台頭 伊藤整「文学的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆ 戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆ 復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆ 成長期の精華 雑誌「北海文学」（原田康子「挽歌」掲載）、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊（三浦光世筆） ◆ 変転する現代 高橋揆一郎「『伸予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

### 〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆ 「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆ 「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆ 「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙 短歌、俳句、川柳、児童文学については、系譜図の更新やレイアウトの変更など、一部を改訂した。

### 〈北海道の短歌〉〔山名康郎〕

◆ 北海道歌壇の動き 山下秀之助、酒井廣治、小田観螢、中城ふみ子ほか ◆ 来道歌人 斎藤茂吉、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤史、宮終二ほか ◆ 口語短歌 鳴海要吉、石川啄木ほか ◆ アイヌの歌人 バチラー八重子、達星北斗、森竹竹市ほか

### 〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆ 北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆ 俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆ 花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆ 俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

### 〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

### 〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆ 明治～昭和前期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆ 昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆ 北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介。

### 〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆ 明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆ 昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆ 昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

### 〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業区分」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業区分	事業名	実施時期	観覧(参加)者 実績数(人)	備考	
	文芸講演会	「啄木の歌をどう読むか」(講師：詩人・中村稔氏)	7/22(土)	80	
	文芸講演会	「世界との出会い」(講師：作家・池澤夏樹氏)	10/14(土)	100	
※	文芸講演会	「静かな大地～誕生余話～」(講師：作家・池澤夏樹氏)	10/15(日) 会場：道立近代美術館	175	道立近代美術館、(財)北海道教職員厚生会と共催
	文芸セミナー	「ファインダーの向こうへ」(講師：写真家・綿引幸造氏)	4/29(土)	65	
※	文芸セミナー	「知床を描く」(講師：絵本作家・関屋敏隆氏)	9/9(土)	33	「ファミリー文学館」関連事業
※	文芸セミナー	「有島武郎と北の創造者」(講師：当館研究員・亀井志乃)	2/25(日)	52	
※	連続朗読会	「朗読のつどい」(朗読とお話：作家・池澤夏樹氏)	10/17(火)、10/18(水)、 10/19(木)	110	(財)北海道教職員厚生会と共催
※	朗読会	「朗読のつどい」(朗読とお話：作家・池澤夏樹氏)	10/22(日) 会場：帯広美術館	72	(財)北海道教職員厚生会と共催
※	連続講座	「池澤夏樹と福永武彦」ほか 池澤夏樹展関連3講座	11/11(土)、11/12(日)、 11/18(土)、11/19(日)	140	
※	ウィークエンド カレッジ	「児童文学」ほか6分野 前期・後期 合わせて延べ13講座	前期7講座延べ55回 後期6講座延べ34回	647	
※	ロビーコンサート	「ドップラー、ロッシーニらの名曲をフルートであなたに」(札幌：森圭吾氏ほか)	12/10(日)	49	
	ファミリー文学館	知床の自然を描く～関屋敏隆絵本原画展～	9/9(土)～10/1(日) (20日間)	1,979	
※	わくわくこども ランド	手作り教室、絵本の読み聞かせ、楽器演奏、紙芝居など13事業	年度間14日間	792	
	映画鑑賞会	「キューポラのある街」(1962年 日活 早船ちよ原作)	5/14(日)	71	
	映画鑑賞会	「ハッピーバースデー～命かがやく瞬間～」(アニメ 青木和雄原作)	8/20(日)	61	
	映画鑑賞会	「氷点」(三浦綾子原作)	11/12(日)	89	
	映画鑑賞会	「水戸黄門」(月形龍之介映画生活38周年記念、直木三十五原作)	3/4(日)	86	
	秋の文学道場	「中・高生のための創作講座」(講師：作家・加藤多一氏ほか)	10/21(土)、10/28(土)、 11/3(金)	33	
	ビデオ制作事業	前年度の北部編に続く「札幌・南部編」(DVD20分)を制作			
※	市町村連携事業	「トークの夕べ」(講師：作家・池澤夏樹氏、作家・佐々木譲氏、北海道文学館理事長神谷忠孝)	10/21(土) 会場：帯広市 (とちかちプラザ)	180	帯広市教育委員会、帯広大谷短期大学、(財)北海道教職員厚生会と共催
	学校教育と連携	<p>◇修学旅行・校外学習 ― 学校の求めに応じて、一部展示解説や施設案内を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行 奈井江町江南小(6/20、5名)、滋賀県立水口東高(8/29、2名)、兵庫県立播磨南高(1/31、5名)</li> <li>・校外学習 厚別南中(6/2、13名)、千歳市向陽台中(6/2、4名)、札幌市栄西小(6/23、6名)、石狩市八幡小(6/28、32名)、北広島市西部中(6/30、12名)、北広島市広葉中(8/22、15名)</li> </ul> <p>◇短歌コンテスト ― 石川啄木展の関連事業として実施。応募期間7/10～8/15。表彰式8/19。作品を文学館で展示。道内およそ30校の小・中学校の児童・生徒から618首の応募があった。入選27首。</p> <p>◇探検クイズ ― 文学館展示室から小学生の学習のヒントになるクイズを出題。正解者にオリジナルシールを配付。開館期間通年で実施。年度間726名の小学生が参加。</p>			

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別企画展「石川啄木～貧苦と挫折を超えて～」関連資料調査
- ② 特別企画展「池澤夏樹のトポス」関連資料調査
- ③ 企画展「写・文交響 写真家綿引幸造の世界から」関連資料調査
- ④ 企画展「〈デルス・ウザーラ〉絵物語展」関連資料調査
- ⑤ 企画展「中山周三旧蔵資料展」関連資料調査
- ⑥ 企画展「人生を奏でる二組のデュオ展」関連資料調査
- ⑦ 特別企画展の図録作成に要する調査
- ⑧ 副読本「北海道の文学」の編集に関わる資料調査
- ⑨ 船山馨・滋生関連資料調査
- ⑩ 太宰治関連資料調査
- ⑪ 山田昭夫関連資料調査
- ⑫ 児童雑誌所在調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに主共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 斎藤茂吉記念第12回中川町短歌フェスティバル（中川町教育委員会主催）  
（平成18年6月1日～7月20日 中川町教育委員会）
- ② サハリン文学紀行実行委員会  
「宮沢賢治と北原白秋 小熊秀雄の詩の旅」  
（平成18年8月8日～8月11日 サハリン）
- ③ 日本詩人クラブ、日本詩人クラブ札幌イベント実行委員会  
「現代詩講演会」  
（平成18年5月27日 北海道立文学館講堂）
- ④ 日本児童文学者協会、日本児童文学者協会北海道支部  
「北の童話」講演会  
（平成18年9月30日 北海道立文学館講堂）
- ⑤ 札幌おはなしの会  
「大人が楽しむおはなし会」  
（平成18年11月4日 北海道立文学館講堂）
- ⑥ クリスマス朗読とハーブの夕べ実行委員会  
「クリスマス朗読とハーブの夕べ」  
（平成18年12月8日 北海道立文学館地階ロビー）

#### VI 啓発広報事業

- ① 施設案内、常設展リーフレット、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行
- ② 「北海道文学館報」第65号（平成18年4月）、第66号（平成18年7月）、第67号（平成18年10月）、第68号（平成19年2月）の編集発行

## Ⅶ 刊行物の刊行事業

- ① 特別企画展「石川啄木～貧苦と挫折を超えて～」図録の刊行
- ② 企画展「人生を奏でる二組のデュオ」図録の刊行
- ③ 平成 17 年度年報の刊行

## Ⅷ その他の付帯事業

- ① 博物館学芸員実習生の受け入れ

博物館実務実習として平成 18 年 7 月から 19 年 2 月まで、次の 5 大学の 11 名を 2 週間毎に 1 名ずつ受け入れた。

北海道教育大学函館校 1 名、北海道武蔵女子短期大学 2 名、北海道教育大学札幌校 3 名、札幌大学 3 名、北海道文教大学 2 名

- ② 古書バザールの実施

平成 18 年 4 月～同 19 年 3 月、文学館ロビーで通年実施（古書バザール実行委員会）